



代表して二瓶町長から辞令を受ける古川さん(右)

冬の備えは万全です

町除雪オペレーターに辞令交付

町除雪オペレーターの辞令交付式は12月2日、町役場で行われました。二瓶盛一町長が古川文和さんに辞令を手渡し、「健康管理には十分に留意して、本町の厳しい冬季間、町民の皆さんの安全・安心な道路交通の確保に努めてください」とあいさつしました。

また、オペレーターらは12月4日に開かれた安全運転講習会に参加し、交通安全の意識を高めました。

年末年始の事件事故防止呼び掛け

地域安全運動・交通事故防止県民総ぐるみ運動出動式

年末年始における地域安全運動と交通事故防止県民総ぐるみ運動の合同出動式は12月5日、学びいなで行われました。出動式では、猪苗代地区防犯協会連合会長の二瓶盛一町長が「事故や犯罪の発生を防ぐためには、地域ぐるみで声を掛け合ってお互いを守ることが重要」とあいさつしました。非行防止・地域安全ポスター入賞者への表彰式も行われ、小学校低学年の部で最優秀賞を受賞した五十嵐彩さん(猪苗代小3年)らに賞状が贈られました。



最優秀賞の賞状を受ける五十嵐さん(左から2人目)



一生懸命な姿に大きな拍手

ひまわり・さくらこども園保育発表会

ひまわりこども園の保育発表会は11月30日に、さくらこども園の保育発表会は12月7日と14日に、各こども園で開かれました。

子どもたちは、歌やダンス、劇や白虎隊の剣舞など、この日のために練習してきた成果を元気に発表しました。ステージ上で一生懸命に取り組む子どもたちの姿に、会場を訪れた保護者からは大きな拍手が送られました。



1_ひまわりこども園ちゅうりっぷ組のリズム「千本桜」2_ひまわりこども園たんぽぽ組のリズム「レッツ・ラ・クッキン☆ショータイム」3_ひまわりこども園ひまわり組の剣舞「白虎隊」4_さくらこども園さくら組の剣舞「白虎隊」

第23回母から子への手紙コンテスト

原文のまま掲載

大賞 早川慶子さん(宮城県)

この前、あなたの職場を見学に行つたよ。あなたは作業に夢中で気がつかないのか、お母さんの前を知らぬ顔で通り過ぎ、山積みペットボトルの前に立つと、慣れた手つきで一個ずつキャップを外しては大きなカゴの中に投げ入れ、カゴがいっぱいになると、先輩と協力してリサイクル場へ運びます。そのスピード。手際のよさ。

自閉症と知的障がい、何も分からず、困った行動ばかりのあなたが、こんなにもてきぱきと仕事をしているなんて。こんなにも成長していたなんて。夢のようで、信じられなくて。でも、すごく嬉しかったよ。

あの日から、お母さんは、あなたのまっ黒に汚れた作業着を洗濯するのが、苦にならなくなりました。

毎朝、小走りで送迎バスに乗り込み、窓から手を振るあなたへ。今日も元気にいつてらっしゃい。地球を守るあなたのお仕事は、お母さんの誇りです。

第23回母から子への手紙コンテストの表彰式は12月1日、学びいなで行われ、大賞を受賞した早川慶子さん(宮城県)らに賞状などが贈られました。

今年は全国各地から1313編の作品が寄せられ、一次選考会で50作品を選出。最終選考会では、芥川賞作家の玄侑宗久さん、講師の末利光さん、エッセイストの大石邦子さん、一次選考委員代表の楠美枝子さんの4人が厳正に審査し、大賞、準大賞、日本郵便賞などの各賞を決定しました。



賞状を受ける早川さん(左)

日本郵便賞 栄直美さん(愛媛県)

君は言葉の発達が遅く、四才になるまで喋らなかつたね。私たちの言葉はちゃんと理解してくれていたのだから不安は無かつたけれど、たまに心無い人から「愛情が足りんのじゃない。」などと言われると母さんはとても落ち込みビービー泣いていました。

そんな母さんを見て父さんは「あいつは今、言葉を沢山貯めてるんよ。そのうち急に喋りだして『お願いだから少し黙って』って、言う日が必ず来る。あいつを信じて待とう。」って、言ってくれた。その日から母さんは、人それぞれ、人と比べない。と心に誓った。

気が付けば君は家族の中で一番のお喋り君になっていた。

「お願いだから少し黙っていて。」

夢にまで見た言葉を君に言った時、嬉し涙が零れたよ。人と比べない事をモットーにしてきたけど、アインシュタインは五才まで喋らなかつたと聞いて期待してしまう母です。

準大賞 廣瀬加奈さん(大阪府)

娘の好物はエビフライ。その下処理をしながらふと思った。手間暇かけた煮込みでも何でも、食べてくれるのはアツという間。この十分程の為に頑張るのは「美味しかった」の一言と、キレイに残さず食べてくれた瞬間を想うから。言葉少なに食事を終え、エビのしっぽを積み上げた皿を残して威勢よく部屋に戻っていく娘を、少し淋しくも思うけれど。本当はお母ちゃん、もっとお話がしたいよ。思春期くん!

夏休みなど、三食きっちり用意するのは面倒だけど。食事に込めた母の愛情を、いつしか思い出してくれたら良いな思いつつ自分を励ます。何だか一日中、ご飯作ってるやんと思いつつながら、今日も台所に立っている。